

地域改善対策奨学金等の貸与を
地域改善対策就学奨励金等

受けてこられた方へ

平成13年3月

京都市文化市民局

みなさんが受けてこられた奨学金等（奨学金及び通学用品等助成金）又は就学奨励金等（就学奨励金及び就学奨励支度金）は、みなさんが勉学に専念し、必要な知識を身に付け、将来の生活の安定を図るとともに、自ら同和問題の解決に積極的に寄与していただくことを目的として貸与してきたものです。

京都市では、貸与した奨学金や就学奨励金等の返還に当たっては、返還免除制度（生活困難のため貸付金の返還ができない場合にその返還を免除する制度）の活用や自立促進援助事業（貸付金の返還に充てるため援助金を支給する事業）の実施により、貸与を受けた方に負担がかからないようにしております。

みなさんが返還免除制度や自立促進援助金の支給を受けるためには、下記の手続が必要となります。また、返還期間中の生存の有無、氏名、住所、世帯構成員等の変動の確認を行うために、書類の提出等の手続をしていただくことがありますので、御理解と御協力をお願い致します。

記

奨学金等又は就学奨励金等に関して、該当する次の書類を、平成13年4月20日（金）までに、隣保館に提出してください。

1 進学されない方の場合

（1）返還に関する書類

ア 奨学金等又は就学奨励金等に関する返還計画書

ただし、高校と大学とでそれぞれ奨学金等又は就学奨励金等の貸与を受けた方は、奨学金等又は就学奨励金等の返還計画書を高校分と大学分とでそれぞれ1通提出してください。

イ 奨学金等又は就学奨励金等の返還手続に関する依頼状

(2) 返還免除に関する書類(奨学金等の貸与を受けた方のみ提出してください。就学奨励金等の貸与を受けた方は、提出の必要はありません。)

ア 奨学金等に関する返還免除申請書

ただし、高校と大学とでそれぞれ奨学金等の貸与を受けた方は、奨学金等の返還免除申請書を高校分と大学分とでそれぞれ1通提出してください。

イ 奨学金等の返還に係る請書

ウ 依頼届

エ 所得証明願

生活保護を受けておられる場合は、生活保護の保護受給証明書も提出してください。

オ 本人死亡、心身の著しい障害、その他やむを得ない理由により奨学金等を返還することができなくなったと認められる場合は、その事由を証明する書類又はその写し

(3) 自立促進援助事業に関する書類

ア 自立促進援助金支給申請書

イ 自立促進援助金に係る請書

2 進学等をされる方の場合

(短期大学又は大学へ進学及び専修学校又は予備校へ入学される場合)

奨学金等又は就学奨励金等に関する返還猶予申請書

※ その他、不明な点があれば、隣保館へ御相談ください。

地域改善対策奨学金等返還計画書

資料7-2

(あて先) 京 都 市 長		○ 年 4 月 5 日
本 人	住 所 ○○区○○○○○	氏名 (記名押印又は署名) 山田 太郎 (印)
	住 所 ○○区○○○○○	氏名 (記名押印又は署名) 山田 一郎 (印)

貸与決定の年月日及び番号		○ 年 5 月 18 日 第○○○○○号	
奨 学 金 等 の 種 別		☒ 奨 学 金 ☒ 通学用品等助成金	
返 還 金 額	☐ 奨 学 金	2,880,000 円	
	☐ 通学用品等助成金	35,000 円	
	☐ 合 計	2,915,000 円	
返 還 期 間		○ 年 10 月 1 日から ○ 年 9 月 30 日まで	
返 還 方 法		☐ 月賦 ☐ 半年賦 ☒ 年賦	
1 回当たりの返還額		145,750 円	
返 還 開 始 年 月 日		○ 年 10 月 1 日	

(※この部分については、全て鉛筆で記入)

注 該当する□には、✓印を記入してください。

依頼状

京都市文化市民局人権文化推進部長を私の代理人と定め、京都市
地域改善対策奨学金等貸与規則に基づく奨学金及び通学用品等助成
金の返還に関する行為を依頼します。

○年 4月 5日

本人住所 ○○区○○○○

本人氏名 山田 太郎



世帯主住所 ○○区○○○○

世帯主氏名 山田 一郎



自立促進援助金支給申請書

資料7-4

(あて先) 京都市長	○年 4月 5日
住 所 ○ ○ 区 ○ ○ ○ ○ ○	氏名 (記名押印又は署名) 山 田 太 郎 (印)

自立促進援助金の支給を申請します。			
貸与を受けた額	☒ 奨 学 金 等	☒ 奨 学 金	2,880,000 円
		☒ 通学用品等助成金	35,000 円
		合 計	2,915,000 円
	☐ 就学奨励金等	☐ 就 学 奨 励 金	円
		☐ 就学奨励支度金	円
		合 計	円
自立促進援助金申請金額		毎 年	145,750 円
		合 計	2,915,000 円
卒業した学校又は 退学した学校	高 校 等	☐ 高 校 ☐ 高 専	
		年 月 日	☐ 卒 業 ☐ 退 学
	大 学 等	○ ○ ☐ 短 大 ☒ 大 学	
		○ 年 3 月 18 日	☒ 卒 業 ☐ 退 学
卒 業 又 は 退 学 後 の 状 況	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ に就職		
申 請 理 由	父が失業中のため生活が苦しく、私も働きはじめたばかりで、収入が少ないため、自立促進援助金の支給を申請します。		

(※この部分については、全て鉛筆で記入)

注 該当する□には、✓印を記入してください。

資料7-5

自立促進援助金に係る請書

○年4月5日

(あて先)京都市長

本人住所 ○○区○○○○

本人氏名 山田太郎

世帯主住所 ○○区○○○○

世帯主氏名 山田一郎

☒ 地域改善対策奨学金等の返還の免除事由に該当しない年度

においては、

☐ 地域改善対策就学奨励金等の返還

自立促進援助金をもって返還金に充当する次第であります。

ついては、自立促進援助金の申請に関する今後における一切の手続き及び受

☒ 地域改善対策奨学金等の返還

領並びに

に関する手続きについて、

☐ 地域改善対策就学奨励金等の返還

京都市文化市民局人権文化推進部長が事務処理されることをお請けします。